



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月5日

上場会社名 株式会社 ニューテック 上場取引所 東
 コード番号 6734 URL http://www.newtech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 広幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理部長 (氏名) 宮崎 有美子 TEL 03-5777-0888
 四半期報告書提出予定日 2021年10月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,285	△20.6	115	△46.7	123	△44.1	77	△49.3
2021年2月期第2四半期	1,618	12.1	216	56.1	220	54.9	153	51.5

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 77百万円(△49.2%) 2021年2月期第2四半期 152百万円(51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	40.50	-
2021年2月期第2四半期	79.82	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	3,175	1,919	60.5
2021年2月期	3,236	1,889	58.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 1,919百万円 2021年2月期 1,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2022年2月期	-	0.00	-	-	-
2022年2月期(予想)	-	-	-	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,194	1.9	343	△14.4	342	△15.5	236	△20.3	123.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	2,081,000株	2021年2月期	2,081,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	164,195株	2021年2月期	164,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	1,916,805株	2021年2月期2Q	1,916,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス蔓延の影響は収束せず、未だ、国内企業の業績は全く見通せず、先行きは今まで経験したことのない不透明感が続いております。こうした状況の中、国内IT関連投資に関しても、当該期間中は新規の投資は手控えられ、大幅に落ち込んでいる状況です。

また、最近の世界的半導体不足による電子部品の不足は各業界に影響しており、益々見通しが立ちにくくなっております。このような環境の下、当社でも政府の緊急事態宣言の発動に合わせ在宅勤務やテレワーク等による外出自粛を徹底した結果、営業活動に大きな支障はないものの、苦戦が続いております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,285,261千円（前年同期比20.6%減）と、大幅な減収となりました。製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラーカード、小型NAS）の出荷は、295,757千円（前年同期比4.2%減）でありましたが、主力製品のNASの販売においては、小型NASの大口の案件があった前年に比べ大幅に減少し、358,975千円（前年同期比53.5%減）となりました。その結果、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は全体では927,545千円（前年同期比30.4%減）と減少しました。また、商品売上は136,514千円（前年同期比47.6%増）でありました。

サービス売上は、株式会社ITストレージサービスの扱った当社以外の製品の保守契約も加わり、221,201千円（前年同期比14.1%増）と、増加しました。

以上の結果、損益面では、減収及び粗利率の低下（前年同期比0.7ポイント減）により、営業利益115,653千円（前年同期比46.7%減）、経常利益123,415千円（前年同期比44.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益77,630千円（前年同期比49.3%減）となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

品目別	期別		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前連結会計年度	
			自 2020年3月1日 至 2020年8月31日		自 2021年3月1日 至 2021年8月31日		自 2020年3月1日 至 2021年2月28日	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比		
	千円	%	千円	%	千円	%		
ストレージ本体	1,259,943	20.4	870,690	△30.9	2,296,515	1.8		
周辺機器	72,091	△25.4	56,855	△21.1	152,905	△13.8		
製品小計	1,332,035	16.6	927,545	△30.4	2,449,420	0.6		
商品	92,466	△26.2	136,514	47.6	272,402	△14.9		
サービス	193,917	10.6	221,201	14.1	412,510	10.2		
合計	1,618,420	12.1	1,285,261	△20.6	3,134,333	0.2		

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較し60,897千円減少し3,175,268千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して52,292千円減少し3,012,174千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金314,274千円の減少に対し、現金及び預金234,193千円、たな卸資産12,872千円、その他16,648千円等が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して8,605千円減少し163,093千円となりました。これは主に、建物1,538千円、工具、器具及び備品2,572千円、無形固定資産691千円、繰延税金資産3,878千円が減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して100,764千円減少し1,178,998千円となりました。これは主に、前受収益31,730千円、1年内返済予定の長期借入金13,851千円の増加に対し、買掛金43,212千円、未払法人税等40,460千円、未払金17,164千円、未払費用13,207千円、その他29,855千円が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して10,052千円増加し76,610千円となりました。これは主に、長期借入金10,010千円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して29,813千円増加し、1,919,659千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益77,630千円の計上に対し、配当金の支払い47,920千円等があったことによる利益剰余金29,710千円の増加等によるものであります。自己資本比率は60.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ234,193千円増加し2,237,936千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は259,116千円（前年同期は64,653千円の使用）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益113,415千円、売上債権の減少314,274千円、減価償却費8,486千円、前受収益の増加31,730千円等であり、主な資金減少要因は、たな卸資産の増加15,547千円、仕入債務の減少43,212千円、法人税等の支払71,103千円、その他負債の減少63,085千円、その他資産の増加14,834千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,009千円（前年同期は2,769千円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,009千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は23,913千円（前年同期は119,500千円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出26,139千円、配当金の支払額47,774千円に対し、長期借入れによる収入50,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の通期連結業績予想につきましては、2021年4月14日付の「2022年2月期 決算短信」の連結業績予想において公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,003,742	2,237,936
受取手形及び売掛金	804,193	489,919
商品及び製品	37,450	36,618
仕掛品	111,893	102,632
原材料	95,396	118,361
前払費用	9,918	8,186
その他	1,871	18,519
流動資産合計	3,064,466	3,012,174
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,863	16,325
工具、器具及び備品(純額)	26,807	24,235
有形固定資産合計	44,671	40,561
無形固定資産		
無形固定資産	4,280	3,589
投資その他の資産		
投資有価証券	80,366	80,515
繰延税金資産	17,619	13,741
差入保証金	23,767	23,767
長期前払費用	994	919
投資その他の資産合計	122,746	118,943
固定資産合計	171,698	163,093
資産合計	3,236,165	3,175,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,611	87,399
1年内返済予定の長期借入金	32,817	46,668
未払金	35,389	18,225
未払法人税等	77,830	37,370
製品保証引当金	19,641	18,641
未払費用	62,983	49,775
前受収益	873,166	904,896
預り金	8,904	7,458
その他	38,418	8,562
流動負債合計	1,279,762	1,178,998
固定負債		
長期借入金	59,964	69,974
資産除去債務	6,593	6,636
固定負債合計	66,557	76,610
負債合計	1,346,320	1,255,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	510,925	510,925
利益剰余金	959,657	989,368
自己株式	△78,265	△78,265
株主資本合計	1,888,627	1,918,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,217	1,321
その他の包括利益累計額合計	1,217	1,321
純資産合計	1,889,845	1,919,659
負債純資産合計	3,236,165	3,175,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	1,618,420	1,285,261
売上原価	1,064,542	855,262
売上総利益	553,878	429,998
販売費及び一般管理費	337,094	314,344
営業利益	216,783	115,653
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	1,923	1,923
為替差益	1,062	912
助成金収入	720	2,160
受取販売奨励金	339	4,421
その他	1,350	271
営業外収益合計	5,404	9,698
営業外費用		
支払利息	560	267
売上債権売却損	986	1,627
その他	34	41
営業外費用合計	1,580	1,936
経常利益	220,607	123,415
特別損失		
役員退職慰労金	—	10,000
特別損失合計	—	10,000
税金等調整前四半期純利益	220,607	113,415
法人税、住民税及び事業税	69,287	31,952
法人税等調整額	△1,684	3,832
法人税等合計	67,602	35,784
四半期純利益	153,004	77,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,004	77,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	153,004	77,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	103
その他の包括利益合計	△60	103
四半期包括利益	152,944	77,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,944	77,734
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	220,607	113,415
減価償却費	13,832	8,486
受取利息及び受取配当金	△1,932	△1,933
支払利息	560	267
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,910	△999
売上債権の増減額(△は増加)	△212,366	314,274
たな卸資産の増減額(△は増加)	△68,546	△15,547
仕入債務の増減額(△は減少)	56,362	△43,212
前受収益の増減額(△は減少)	21,151	31,730
その他の資産の増減額(△は増加)	3,695	△14,834
その他の負債の増減額(△は減少)	△21,377	△63,085
小計	10,076	328,560
利息及び配当金の受取額	1,932	1,933
利息の支払額	△518	△275
法人税等の支払額	△76,144	△71,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64,653	259,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,426	△1,009
無形固定資産の取得による支出	△343	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,769	△1,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△71,686	△26,139
配当金の支払額	△47,814	△47,774
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,500	△23,913
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△186,924	234,193
現金及び現金同等物の期首残高	1,771,629	2,003,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,584,705	2,237,936

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの業績に与える影響は軽微であり、当第2四半期連結累計期間以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

しかしながら、本感染症の収束時期は不透明であり、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。